

2021年度

自己点検・評価報告書

2022年3月

学校法人 文理学園

日本文理大学医療専門学校

臨床検査学科

目次

I	学校の現況	1
II	評価の基本方針	2
III	重点目標	2
IV	評価項目の達成及び取組状況	3
	1. 教育理念・教育目標	3
	2. 学校運営	4
	3. 教育活動	5
	4. 学修成果	6
	5. 学生支援	7
	6. 教育環境	8
	7. 学生の受入れ募集	9
	8. 財務	10
	9. 法令等の遵守	11
	10. 社会貢献・地域貢献	12
V	総合評価	13

I 学校の現況

(1) 施設の概要

学校名: 学校法人 文理学園 日本文理大学医療専門学校

所在地: 大分県大分市一木1727

施設長: 校長 豊住 昭和

(2) 沿革

1995年(平成7年)NBUメディカルカレッジ 診療放射線学科設置

2004年(平成16年)日本文理大学医療専門学校に改称

2005年(平成17年)臨床検査学科 臨床工学科設置

(3) 学科の構成

課程名	学科名	修業年限	入学定員	総定員	昼夜別
医療専門課程	診療放射線学科	3年	80名	240名	昼間
	臨床検査学科	3年	40名	120名	昼間
	臨床工学科	3年	40名	120名	昼間

(4) 学生数

学科名	1学年	2学年	3学年	全学年
診療放射線学科	95	87	67	249
臨床検査学科	40	33	30	103
臨床工学科	24	12	16	52

(5) 教職員数

	専任	非常勤
診療放射線学科	10	10
臨床検査学科	6	11
臨床工学科	7	15
職員数	23	36

II 評価の基本方針

- (1) 自己点検・評価を行うことにより教育研究活動の現状を把握し、諸機能を活性化させ、その教育水準の維持向上に努めることを目的とする。
- (2) 自己点検・評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り実施するものとする。
- (3) 判定基準
 - 4…適切 適切にされており、特に解決すべき課題はない
 - 3…ほぼ適切 現時点で早急に解決すべき課題はないが、状況把握が必要
 - 2…やや不適切 状況把握を行い、解決に向けた取組みが必要
 - 1…不適切 早急に解決すべき課題である

III 重点目標

1. 学校の教育目標

- (1) 幅広い教養、奉仕の心、生命の尊厳の認識を持った人間的資質を磨き、社会が医療人に求めているものを的確に把握し対応できる能力を習得させる。
- (2) 医療従事者として、明確な目標を持ち、生涯にわたり自己研鑽を継続的に実施できるような自分を律する人間を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 国家試験合格率100%を目指した教育の実践
- (2) 定員充足率100%を目指した学生募集の展開
- (3) 学生の就職活動の早期化および、施設の開拓

3. 学科の目標

- (1) クラス担任との面談および個別指導等による支援体制の強化、資格試験の受験等を通して将来像の意識付けを図ることにより学習意欲を高める。
- (2) 成績不振の学生に対しては、保護者およびクラス担任と連携をとりながら、学習方法や生活習慣の改善を図り留年生の減少を目指す。

IV 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・教育目標

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4…適切
2	学校における職業教育の特色は何か	4…適切
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3…ほぼ適切
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3…ほぼ適切
5	学科の教育目標、育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3…ほぼ適切

① 課題
5 病院や臨床検査センターのみならず、企業への職域を拡大したい。
② 今後の改善方策
5 PCR法などの遺伝子検査を臨床検査技師が実施していることをホームページ等で発信する。
③ 特記事項
3 日本文理大学保健医療学部の設置構想中である。

2. 学校運営

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4…適切
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4…適切
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	3…ほぼ適切
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4…適切
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3…ほぼ適切
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4…適切
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3…ほぼ適切

① 課題
7 成績管理について、係が保持するファイルと校務システムの両方へ入力する作業は効率が悪い。
② 今後の改善方策
7 校務システムが備えている機能を活用し、効率化を図る。
③ 特記事項
なし

3. 教育活動

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4…適切
2	教育理念および育成人材像を踏まえ、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3…ほぼ適切
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4…適切
4	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3…ほぼ適切
5	業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3…ほぼ適切
6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4…適切
7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4…適切
8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3…ほぼ適切
9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3…ほぼ適切
10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3…ほぼ適切
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3…ほぼ適切
12	教員の能力開発のために学内において研修等が行われているか	3…ほぼ適切
13	教員の能力開発のために学外での研修等に参加しているか	4…適切

① 課題
12 Microsoft Teamsの活用が教員によって偏りがあった。
② 今後の改善方策
4 新旧カリキュラムが混在するが、すべての学生が理論と実践を一体的に学修できるよう構成する。 12 オンラインであっても対面と同等以上の指導が可能となるよう、研修会の開催を検討する。 13 Web開催の学会や研修会等に積極的に参加する。
③ 特記事項
なし

4. 学修成果

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4…適切
2	資格取得率の向上が図られているか	4…適切
3	退学率の低減が図られているか	4…適切
4	学習の不安を抱える学生へのフォローアップ体制がとられているか	3…ほぼ適切
5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3…ほぼ適切
6	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3…ほぼ適切

① 課題
3 退学者が一定数生じている。
② 今後の改善方策
4 クラス担任を中心に保護者等と連携し、学生支援に展開する。
③ 特記事項
2 有機溶剤作業主任者資格を受験者全員が取得することができた。 2 第2種ME技術実力検定試験を希望者のみの受験とし、高い合格率となった。

5. 学生支援

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4…適切
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4…適切
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4…適切
4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3…ほぼ適切
5	学生の生活環境への支援は行われているか	3…ほぼ適切
6	保護者と適切に連携しているか	3…ほぼ適切
7	卒業生への支援体制はあるか	3…ほぼ適切
8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3…ほぼ適切

① 課題
4 進学への支援体制は十分に整備されていない。
② 今後の改善方策
6 校友会の会合をWeb開催を含め検討する。
③ 特記事項
なし

6. 教育環境

評価項目		評価
1	施設・設備は教育上必要な範囲で十分対応できるよう整備されているか	3…ほぼ適切
2	オンライン授業の実施に必要な環境が整備されているか	4…適切
3	防災に対する体制は整備されているか	4…適切

① 課題	
1	校舎の整備
② 今後の改善方策	
1	老朽化した設備や機器の更新を検討する。
③ 特記事項	
なし	

7. 学生の受入れ募集

評価項目		評価
1	学生の募集活動は適正に行われているか	3…ほぼ適切
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3…ほぼ適切
3	学納金は妥当なものとなっているか	4…適切

① 課題
1 閉校の影響で出願者数が減少した。
② 今後の改善方策
なし
③ 特記事項
なし

8. 財務

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3…ほぼ適切
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3…ほぼ適切
3	財務について会計監査が適正に行われているか	3…ほぼ適切
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3…ほぼ適切

① 課題
なし
② 今後の改善方策
1 退学者の減少に努め、安定した財務基盤を構築する。
③ 特記事項
なし

9. 法令等の遵守

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4…適切
2	個人情報保護のための対策がとられているか	4…適切
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4…適切
4	自己評価結果を公表しているか	3…ほぼ適切

① 課題	
なし	
② 今後の改善方策	
なし	
③ 特記事項	
なし	

10. 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3…ほぼ適切
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4…適切
3	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2…やや不適切

① 課題
1 新型コロナウイルス感染症の影響で社会貢献・地域貢献活動が実施できなかった。 2 ボランティア活動の中止が相次いだ。
② 今後の改善方策
3 職能団体と連携し、公開講座等の開催を検討する。
③ 特記事項
なし

V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【学校評価の具体的な目標】

健全な学校運営、社会環境の変化やニーズに沿った質の高い教育の提供を目標とし、その取り組み及び達成状況等について自己点検・評価を実施するとともに、その結果を公表することとする。

また、学校関係者評価委員会ならびに教育課程編成委員会を設置し、各委員会や職能団体の意見を踏まえ、自己点検・評価を学校運営の改善のために適切に実施しPDCAサイクルを実行する。

【総合的な評価】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、学校行事の中止や縮小を余儀なくされ、学内では学生同士の3密回避のためディスカッション形式の授業の実施が困難な時期もあった。また、臨地実習の期間変更や短縮のため、学内実習を実施した。さらに、国家試験対策をオンラインで実施したことで、学習効果が対面と比較して十分に得られなかった学生もいたのではないかと思われる。今後は対面講義だけでなくオンラインによる資料提供等を有効に活用し、ハイブリッドな授業スタイルを提供することが求められる。そのために、教員の授業スタイルの見直しを含め資質向上のために研修会の実施や参加を奨励し、より良い教育環境の構築に努めていきたい。